

「第 10 回北東アジア OSS 推進フォーラム」を開催

日本 OSS 推進フォーラム

日本 OSS 推進フォーラム(代表幹事:富士通株式会社 執行役員副社長 佐相 秀幸)および IPA(独立行政法人情報処理推進機構、理事長:藤江 一正)は、オープンソースソフトウェアの活用を促進するため、2011 年 10 月 17 日(月)~18 日(火)の 2 日間にわたり中国西安市において開催された「第 10 回北東アジア OSS 推進フォーラム」に、共催団体として参加しました。日本・中国・韓国の産業界、研究機関、大学、政府関係者等より約 200 名の参加がありました。次回フォーラムは、2012 年に日本で開催することが合意されました。

北東アジア OSS 推進フォーラムは、2004 年以来、日本 OSS 推進フォーラム、中国 OSS 推進連盟及び韓国 OSS 推進フォーラムが協調し、各国における OSS の普及・発展に向けた活動を行っています。今回は、昨年ソウル(韓国)で開催された会合に続く第 10 回会合であり、各国の産・官関係者からの講演、ワーキンググループ(WG)の活動報告、各国で選ばれた OSS 貢献者の共同表彰等が行われました。



今回の会合では、3ヶ国のフォーラム参加者が各 WG から報告された成果と今後の計画に関する議論結果に基づき、次の点を確認しました。

- これまでの、3ヶ国の協調による OSS の普及促進に向けた取り組みは、多くの実りある成果を達成してきている。

- 北東アジアのOSSエコシステム構築を支援し、OSSモデル事業対象市場調査、モデル事業実施および3ヶ国のOSS活動成果の普及と適用を目的とするWG4(適用推進)を設立する。
 - 3ヶ国の更なるOSS分野の協調のために、フォーラム配下に、ガイダンス・コミッティを設立する。
 - 第11回北東アジアOSS推進フォーラムは、2012年に日本で開催する。
- 3つのWGからの報告された主な活動成果と今後の計画は、以下のとおりです。

I. WG1:技術開発・評価

- ▶ Linuxカーネルのバージョン間での互換性をテストするツールCrackerjackのAndroid版を2011年10月にリリースした。
- ▶ クラウドコンピューティングタスクフォース(CCTF)は2011年8月に北京でワークショップを開催した。
- ▶ CCTFは今後パイロットプロジェクトを各国で開始する事に合意した。

II. WG2:人材育成



- ▶ NEA OSS Wikiに公開されているモデルカリキュラムV2を改善し、2012年に公開予定のモデルカリキュラムV3.0(システム管理者用)を開発している。
- ▶ 今回のフォーラムで、昨年に引き続きOSSトレーニングキャンプを開催した。
- ▶ 第6回CJK OSS Awardと第4回CJK OSS Special Awardを実施した。

III. WG3:標準化・認証研究

- ▶ 2010年に設立されたOMATF(OSS成熟度評価タスクフォース)は、90項目の評価指標を定義し、典型的な約400のOSSを選択し、ポピュラーな約200のOSSを2年掛けて評価した。今後も継続してより多くのOSSの評価を実施し、評価情報をアップデートする。
- ▶ OSSの評価を支援するためのRepOSS(OSS成熟度評価リポジトリ)の開発に着手した。2012年にはOSS評価方法・評価ツール使用方法とともに公開する。

議長声明のダウンロード

議長声明の全文は以下のPDFをご覧ください。

- ▶ [第10回北東アジアOSS推進フォーラム議長声明\(原文、英語\)](#)  (PDFファイル、54KB)
- ▶ [第10回北東アジアOSS推進フォーラム議長声明\(日本語訳\)](#)  (PDFファイル、11KB)

本件に関するお問い合わせ先

日本OSS推進フォーラム E-mail:info@ossforum.jp